熊本市立植木北中学校学校だより　第１８号

日　進　月　歩

令和８年１０月８日（木）
校長　坂本正二
「可能性は無限大（∞）」
植木北中 HP→

明日は合唱コンクールです

合唱コンクールを目前に控え、校内には昼休みや放課後になると子どもたちの歌声が響きわたっています。校長室にいても、各学級が心を一つにして金賞を目指し、一生懸命練習に取り組んでいる様子が伝わってきます。教室をのぞくと、担任の先生方も身振り手振りを入れながら熱心に指導されていて、学校全体が合唱コンクールに向けて盛り上がっています。

先週10月２日（金）には、合唱コンクールのリハーサルを実施しました。ステージへの入退場の確認や歌唱指導が行われましたが、リハーサルとはいえ、ステージに立つ子どもたちの表情には緊張が見られました。また、お互いの合唱を聴き合うことで、コンクール本番への意欲もさらに高まったようです。音楽科の先生からは、「表情豊かに歌うこと」「第一声を大切にすること」「しっかり口を開けて歌うこと」、そして「クラス一丸となって取り組むこと」というアドバイスが送られました。

今週に入り、子どもたちは一層意識が高まり、熱心に練習に励んでいました。明日のコンクールでは、これまで積み重ねてきた努力の成果を十分に発揮してくれることと思います。ご多用の折とは存じますが、ぜひ学校へお越しいただき、子どもたちが仲間と協力しながら一生懸命頑張る姿へ温かいご声援を賜りますようお願い申し上げます。どうぞよろしくお願いいたします。

新聞を読もう

本校は、今年度から2年間、「NIE 実践指定校」の指定を受け、新聞を活用した様々な教育活動に取り組んでいます。「NIE」とは、「Newspaper in Education」の略で、新聞を教育に生かす取組のことです。近年は、新聞を購読する家庭や家族でテレビを見る機会が減少し、子どもたちが情報を得る手段の多くはインターネットとなっているようです。私は子どもの頃から新聞を読むことが好きでした。とはいえ、当時よく見ていたのはテレビ欄、スポーツ欄、そして４コマ漫画でした。しかし、その頃に身に付いた習慣は今でも残り、朝から新聞を読まないと、何となく落ち着かない一日になってしまいます。実践校の指定を受けたことで、現在、本校には6つの新聞社から新聞が届いています。子どもたちがいつでも手に取って読めるよう、会議室前にコーナーを設置し並べています。見出しを見比べるだけでも各紙の特徴が感じられ、とても興味深いものです。ちなみに、本日の各紙の一面は、全社「硲合氏のノーベル化学賞受賞」でした。また、同コーナーには、図書室の先生が新聞記事や紙面を活用し、新聞の見方や面白さを伝える掲示をしてくださっています。その掲示を見るだけでも、新聞をはじめとする資料の見方や活用の仕方を学ぶことができます。

情報を得る手段は、必ずしも新聞でなければならないわけではありません。しかし、新聞には政治、経済、国際、文化、スポーツ、地域の話題など、多種多様な情報が掲載されており、自分では意識していなかった出来事や考え方に触れることができます。また、6社の新聞を読み比べられる機会はなかなかありません。子どもたちには、この恵まれた環境を生かし、できるだけ多く新聞に触れてほしいと思います。

素直な子どもたちです

今週の10月５日（月）、担任から子どもたちに通知表を渡しました。学級によっては、一人一人を個別に呼び、説明を加えながら手渡しているクラスもありました。子どもたちは真剣な表情で担任の先生の話に耳を傾け、自分自身の学習や生活を振り返る姿が見られました。また、廊下を歩いていると、教科担当の先生に「4をくれてありがとうございました！」と嬉しそうにお礼を伝えている生徒の姿もありました。その素直で率直な言葉に、子どもたちの純粋さや温かさを感じ、思わず笑顔になりました

先日、保護司会から6名の保護司の皆様にご来校いただき、授業参観や各教室での給食会食をしていただきました。その際、「挨拶がとてもよく、気持ちがよい」「生徒が丁寧に校長室まで案内してくれた」など、多くのお褒めの言葉をいただきました。日頃から学校や家庭、地域の皆様に温かく見守っていただいているおかげで、子どもたちは素直に、そして健やかに成長しています。その姿を大変うれしく感じるとともに、改めて子どもたちのよさを実感しました。

今年度も後半に入りました。子どもたち一人一人の成長を支えながら、よりよい学校づくりに努めてまいります。引き続き、本校の教育活動へのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

※写真は、保護司会の活動について説明されている様子です。